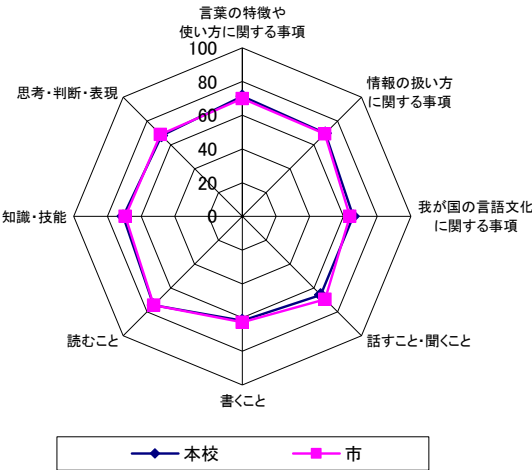


宇都宮市立豊郷北小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方に関する事項	71.3	69.9	72.3
	情報の扱い方に関する事項	69.7	69.2	73.0
	我が国の言語文化に関する事項	65.8	63.8	66.0
	話すこと・聞くこと	65.8	69.5	71.5
	書くこと	61.8	62.8	67.1
	読むこと	74.6	74.4	73.7
観点別	知識・技能	70.7	69.4	71.9
	思考・判断・表現	67.7	68.8	70.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

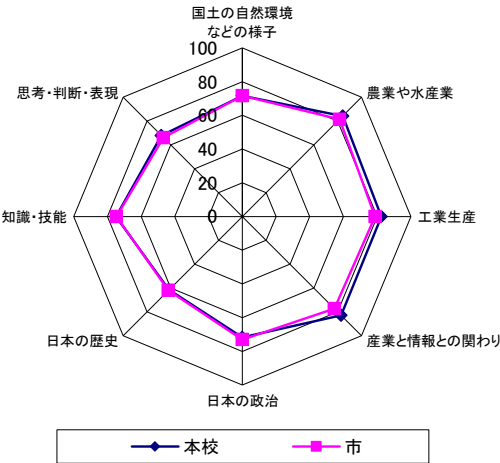
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や 使い方に関する事項	平均正答率は、市の平均よりやや高い。 ○5年生の漢字については概ね正しく読み書きすることができている。 ○敬語について理解し、正しく使うことができています。 ●熟語の成り立ちや文脈に沿った漢字についての問題の正答率がやや低く、漢字の意味についての理解が十分でない児童がいる。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・教科書で習う漢字のページなどを活用し、学習した漢字を、朝の学習や国語の授業で復習をする時間を設けたり、熟語の意味を正しく覚えらるよう宿題で熟語についての復習問題を取り入れたりする。
情報の扱い方 に関する事項	平均正答率は、市の平均よりやや高い。 ○説明文の内容を読み取る力は市の平均よりやや高い。 ●情報の関係について理解し、目的に応じて文章を簡潔に書く力が十分ではない児童が見られる。	・説明文を学習する際に、筆者の伝えたいことを考えて内容を簡潔にまとめる活動を意図的に設定する。
我が国の言語文化 に関する事項	平均正答率は、市の平均より高い。 ○語句の由来に関心をもち、和語、漢語、外来語について理解できている。	・今後も我が国の言語文化に親しめるように、和語・漢語・外来語に触れる機会を多く設定していく。
話すこと・聞くこと	平均正答率は、市の平均より低い。 ●自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉える力に課題が見られる。	・話し手の意図を考えながら聞く活動を取り入れることで、最後まで話を聞く態度を身に付けさせていきたい。
書くこと	平均正答率は、市の平均よりやや低い。 ○目的や意図に応じて書き方を工夫する力が身に付いている。 ●予想される反論とそれに対する意見を書く力に課題が見られる。	・情報を基にそのねらいを読み取り、目的にあったポスターや手紙を書く活動を意図的に設定していく。
読むこと	平均正答率は、市の平均と同等である。 ○文章の内容を読んで意見や感想を共有し、自分の考えを広げることのできる児童が多い。 ○物語を読み、登場人物の心情について、描写をもとに捉える力が身に付いている。	・物語文では、山場やキーワードなどを丁寧に読み取っていくことで、場面や情景をイメージしやすいようにしていく。

宇都宮市立豊郷北小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の自然環境などの様子	71.6	71.6	67.5
	農業や水産業	84.2	81.5	82.1
	工業生産	82.5	78.7	70.8
	産業と情報との関わり	82.9	77.2	68.2
	日本の政治	71.7	73.1	77.9
	日本の歴史	61.5	62.0	65.8
観点別	知識・技能	74.9	74.6	74.5
	思考・判断・表現	67.9	66.2	65.2

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

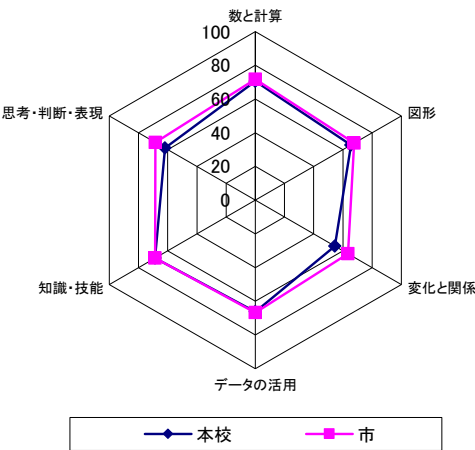
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然環境などの様子	平均正答率は、市の平均と同等。 ○自然災害から生活を守る設備については、十分に理解している。 ●日本の地形の名称と位置をもとにして、地図を読み取る力が十分とはいえない。	・計画的に地図帳を活用して、様々な都市の位置や地形の特徴について確認する。
農業や水産業	平均正答率は、市の平均より高い。 ○カントリーエレベーターの役割や地産地消については、よく理解している。 ●都道府県の位置と農産物の産地の理解が十分ではない。	・日本の農産物や水産物に対する児童の興味・関心を高めるために、授業だけではなく、日常的にも都道府県や特産物を話題に取り上げていく。
工業生産	平均正答率は、市の平均より高い。 ○円グラフから日本の輸出品の移り変わりについては、読み取る問題がよくできている。 ●キャリアカーと船に着目して、自動車の出荷の工夫を捉え記述する問題では、正答率が市の平均より3.6ポイント上回ってはいるが、全体の7割に達していない。	・資料を読み取り分かったことや考えたことを文章で表現する力を伸ばすために、授業の中で意図的に記述で答える機会を設ける。
産業と情報との関わり	平均正答率は、市の平均より高い。 ○テレビやインターネット、新聞など様々なメディアの特徴をよく理解している。 ○資料に着目し、コンビニエンスストアにおける情報の活用の仕方について、理解している。	・5年生で学習した情報に関する学習内容についての復習を今後も継続して行う。
日本の政治	平均正答率は、市の平均より低い。 ○日本国憲法や税金について、よく理解している。 ●国民による政治の仕組みについて、自分の知識と図を関連させて考える力が、十分身に付いているとは言えない。	・国会、内閣、裁判所の役割や特徴、関係性について整理するなど、より理解が深まるように復習を行う。
日本の歴史	平均正答率は、市の平均よりやや低い。 ○江戸幕府の大名の支配についてよく理解している。 ●縄文時代から平安時代の内容について、理解が不十分である。	・既習内容を定期的に復習し、知識がしっかりと身に付くようにしていく。

宇都宮市立豊郷北小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	70.6	71.8	76.2
	図形	65.5	67.7	67.8
	変化と関係	54.4	63.4	62.7
	データの活用	66.2	66.7	61.5
観点別	知識・技能	68.7	68.6	70.7
	思考・判断・表現	61.8	68.5	66.0

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

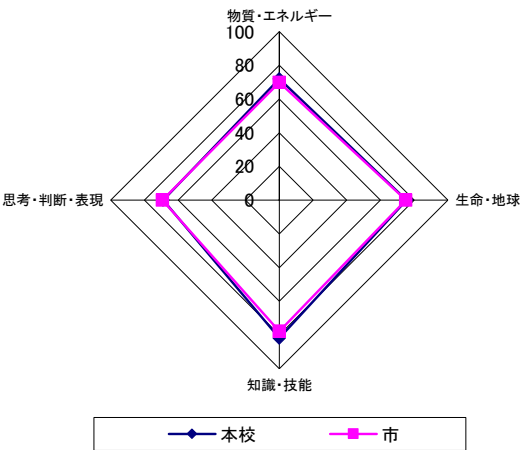
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	平均正答率は、市の平均よりやや低い。 ○小数や分数の計算は、市の平均を大きく上回っている。 ●小数倍の文章問題を理解し、そこから式を考える力が十分とはいえない。 ●分数の除法の文章問題を理解し、それに合った図や式を選ぶことが十分とはいえない。	・朝の学習、家庭学習、習熟度別学習で基礎・基本の定着を図っていく。 ・文章問題の意味を理解し、立式できるように繰り返し練習させ、習熟を図る。
図形	平均正答率は、市の平均よりやや低い。 ○展開図から、見取り図の辺の長さを読み取る力が身に付いている。 ○合同な三角形の作図をする力が身に付いている。 ●点対称な図形について、対応する辺を求めたり、線対称な図形について、対称の軸の数を求めたりすることが十分とはいえない。	・朝の学習、家庭学習、習熟度別学習で、図形の面積や体積を求める公式を活用した問題に取り組み、習熟を図っていく。 ・対称な図形について再度確認し、定着を図る。
変化と関係	平均正答率は、市の平均より低い。 ○速さの単位の関係をおおむね理解している。 ●図から面積と数の割合を求め、混み具合を考える力が十分とはいえない。 ●基準量と比較量から割合を求める力が十分とはいえない。	・単位量あたりの大きさ、速さについての問題を朝の学習や家庭学習で復習をし定着を図る。 ・文章の中から基準量を見極められるように、様々な問題に取り組みせ習熟を図る。
データの活用	平均正答率は、市の平均とほぼ同等である。 ○ドットプロットから中央値を読み取ったり、ヒストグラムを正しく読み取ったりすることができている。 ●正確に平均値を求める力が十分とはいえない。	・データの活用で扱う語彙の意味を理解し、計算によって値が求められるよう、繰り返し指導し定着を図る。 ・様々なグラフに触れる機会を設け、基準量と比較量、割合を求める問題に取り組み、習熟を図っていく。

宇都宮市立豊郷北小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	72.0	69.9	67.8
	生命・地球	75.4	75.1	73.7
観点別	知識・技能	81.8	77.8	78.4
	思考・判断・表現	68.9	69.4	66.2

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	平均正答率は、市の平均より高い。 ○「物のとけ方」の設問において実験技能や結果を正しく理解できている。 ○「ふりこのきまり」でメトロノームのテンポを速くする方法を正しく推測することができる。 ●「水よう液の性質」の設問において、紙から液性を判断するための理解が深まっていない。	・実感を伴った理解を深めるために、観察や実験を丁寧に行い、結果から分かったことや考察について、自分の言葉でノートにまとめられるよう支援していく。
生命・地球	平均正答率は、市の平均より高い。 ○「植物のつくりとはたらき」の設問では、水や養分が植物全体に運ばれることを理解できている。 ●「植物の発芽と成長」や「動物のからだのつくりとはたらき」、「月と太陽」の設問では、観察結果から推測や分析をまとめる力が十分でない。	・図やモデル、映像教材を活用して視覚的に理解できるようにするとともに、自然事象を言語化する機会を多く取り入れる。

宇都宮市立豊郷北小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
授業のねらいを明確にした課題提示	学習のきまりの共通理解を図り、児童に指導するとともに、発問や指示、説明、板書等が明確になるよう心掛けて指導する。	授業への取り組みについての設問では、すべての項目について肯定回答割合が高く、前向きな態度で授業を受けている様子がうかがえる。6学年の学力調査においても、「知識・技能」は市の平均を超えており、授業での取り組みが成果として表れていると考える。
学習の振り返りを大切にし、自分の学びをまとめる力の育成	授業において、その時間のめあてを確認すると共に、振り返りの時間を確保し、理解できたことやできるようになったこと、自分の課題等を児童が実感できるようにする。 互いの考えを交換し合う機会や場を確保し、自分の考えを広めたり深めたりできるようにする。	授業への取り組みについての設問の中にある「自分の考えを根拠を挙げながら話す」や「ものごとをいろいろな視点や立場から考えている」については、肯定回答割合が高いものの学年でばらつきがある。6学年の学力調査においても、「思考・判断・表現」は市の平均を下回り、得られた知識の活用やそれを表現する文章力に課題がみられる。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

「授業の狙いを明確にした課題提示の取り組み」は、児童の能動的な授業への取り組みにつながり、基礎基本となる知識・技能を身に着けることができるものである。今後もこのことを意識して授業を展開していきたい。

「学習の振り返りを大切にし、自分の学びをまとめる力の育成」については、本校が行ってきた「み・が・く」の観点を用いた振り返りを生かしつつも、児童が自分の言葉で本時から学んだことを整理し表現できるように、時間の確保や授業形態を工夫し実践することで、児童の思考力・判断力・表現力の向上に努めたい。

また、読書に対する児童の興味・関心に個人差が大きく、関心が高い児童の割合は多くない。このことからもっと児童が読書に親しむ機会を確保したい。朝の読書の時間や読書週間など、これまでの取り組みを生かして児童の読書への意識を高めるとともに、さらに読書の重要性を強調して児童に伝え、家庭と連携を図り本に親しむことを発したい。